

特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第4号（発行日：平成23年11月1日）

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎（TEL：04-7182-0387）

編集責任者 國方幸生（TEL：04-7184-3385）

事務所：我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail：info@teganuma-trust.jp

ホームページ：http://teganuma-trust.jp ブログ：http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/



活動報告1（サツマイモの収穫）

10月8日（土）晴れ

10月の3連休の初日、快晴。今日はサツマイモの収穫がメインの作業である。春に植え付けた900株のうち、みかん山下の畑の500株を収穫する。安倍さんから収穫後のサツマイモの保存方法や世界史におけるサツマイモのこと等についてご説明を受けた後、作業を開始。

畑に向かう途中、Yさんが「つるを刈り取る前に茎をとらねば」となにより意気込んでおられる。お聞きするとサツマイモの茎は中々美味しいらしい。Yさんは畑に着くなり持参した鋏で茎を手際よく刈り取り始めた。女性2名もこれに加わる。Yさんの話では、沸騰したお湯に茎を入れ一晩おくと翌日に茎の皮がうまく剥けるとのこと。これを油揚げ等と煮物にすると美味とのご説明。少し手間がかかりそうだが、好奇心旺盛な私もYさんから鋏を借りて茎取りに参戦。Yさんからは食べた後の感想を求められていたが、これ以上横道にそれるわけにも行かないので、ここで本題に戻る。

今年はサツマイモのつるの刈り取りに手賀沼ファームの機械を使うとのこと、その名も「くき切り取り機」と分かりやすい名前だ。これが中々の優れもので、バリバリとスムーズにつるを刈り取った上、つるを細かく粉碎したのだ。ウーン、昨年まで鋏でワッセ、ワッセとやったあの作業はなんだったのか？ こんな機械があるならもっと早くから使っていたらと思われた方も多いのではなからうか。

さて今年のサツマイモの出来具合だが、昨年より形が小ぶりである。その原因について手賀沼トラストの「専門家」が意見を交換しておられたが、最後は「天候の影響か」と無難な結論になったようだ。しかし私の見るところ、昨年は切ると黒点の病気のようなものがある芋が多かったが、今年の芋は健康そうで、「量より質」と今年の芋に軍配を上げたのです。気になる参加者への「分け前」だが、芋の分配作業を行った女性陣から「一人5kg」との声があり、量だってまずまずなのでした。まだ400株が残っていますからね。（池嶋 政利 記）

活動報告 2 (秋野菜の手入れ)

10月1日(土) 曇り時々雨

このところ、本業が忙しく、休日出勤、深夜帰宅を強いられていたこともあり、土曜日の農教室の集合時間に少し遅刻して参加しました。

ネームプレートを付け、黑板前のミーティングに加わると手賀沼トラストのホームページの説明が行われていました。ホームページを作成された村山さんとは、我孫子走友会を通じた旧知の仲であることから事前に試作品を見せて頂いていました。村山さんの専門的な知識&センスの良さと、親しみやすいホームページです。手賀沼トラスト活動がインターネットを通じて発信できる体制が整備されたことに加えて、会員にとっては、活動日程や緊急連絡などの最新情報がいち早く、いつでも手元のパソコンから確認出来ます。これまで「パソコンは、ちょっと苦手で・・・」といった方々も、これを機会にパソコンに慣れ親しんで頂いては如何でしょうか。

ミーティング後、各班別に具体的な作業内容、作業場所が指示されました。私たちチーム安倍は、ミカン山の下の圃場で、先日植えた水菜などが全滅したとのことから、再度、カブなどの種まきを行いました。大根についても若葉が虫に食べられ、発芽した苗の周囲に害虫の糞が散らばり、痛々しい状況になっています。葉の裏側を一枚一枚点検しながら、黒っぽい数センチくらいの虫を何匹か駆除しながら、土寄せを行いました。農薬に頼らず、自然との共生をしつつ、農作物を作るハードルは、なかなか高い。農薬のない時代の先人たちは、どのように害虫と闘っていたのだろうかなどと思いを馳せながらの農作業でした。

ミカン山の圃場の作業が終わった後、キグナス石油の東側のサツマイモのツル返しを行いました。風で倒れたサトイモの葉をロープと竹で補強しようとする部材を運び込んだのですが、日暮師匠から「もう、芋が出来てっから、やんなくていいよ！」それでは、試し掘りと掘ってみたところ、しっかり、こいもが鉢巻のようにくっついていました。ネギを一部収穫し、この日の作業を終了しました。(平井 幸夫 記)

活動報告 3 (根戸城址管理)

10月5日(水) 曇り時々雨

10月上旬の前日までの暑さが嘘のような、小雨のけむる秋冷の朝であった。今日は久しぶりの根戸城址での作業である。疲れと今朝の天候で気持が進まないが、気を奮い立たせ城址に着いたのは9時過ぎであった。先輩会員による作業は進んでおり、遅刻である。

今年は東日本大震災だけでなく、台風や大雨の自然災害の多い年でもあった。上陸した台風は、7月の6号、9月の12号、15号と続き、関東にも大きな影響をもたらした。

根戸城址の森も倒木や枯れ枝が散乱しており、作業の前進を阻む。倒れた杉の木をチェーンソーで切断したり、ナタで枝を払ったりして、森の整備を進めた。長く細い杉の木2本は稲のハザ用として調製した。降雨が本格化する前の10時過ぎ、作業を終えた。参加者は15名であった。

古墳でもある植生豊かな根戸城址は、前代表の日暮家により代々守られてきたため、自然豊かに保存されている。トラスト会員は、一般の方が立ち入りができないこの史跡を保全し、環境保護に努めて13年となる。この良き伝統は次の世代に受け継ぎたいものである。「森の精」とも対話できるこの活動に、若い会員や農教室の受講生の方々もぜひ参加してみてください。(鳴谷 潤 記)

活動報告 4 (農業機械体験研修課程受講)

10月20日(木)

田畑整備チームでは希望者を二組に分け、千葉県農業大学校(千葉市緑区)の「農業機械体験研修1日コース(無料)」を受講しました。杉野さん、山口さん、小生の3名は10月19日の研修に参加しました。当日は、早朝6時半に杉野さんの車で出発、当日の受講者は10名(うち6名が女性)、研修メニューは、農作業の安全に関する講話とその後の乗用トラクター、耕運機、刈払い機の実習となっていました。農作業事故の実態と対策の講話では、毎年約400名の方が農作業事故で亡くなっている。その原因として乗用型トラクターでは、傾斜面での転倒・転落、歩行型トラクター(耕運機等)では旋回時や後進時に立木や工作物に挟まれての圧迫死の他、転倒・転落やローターに巻き込まれる事故が多い。また、負傷事故が多いのが刈払い機で、操作者自身の怪我の他、周りの人に小石や回転刃で怪我をさせることがある。ま

た、近年は 60 歳以上の高齢者が死亡事故の大部分を占めているとの説明があり、身が引き締まってきました。

その後、午前中は 2 組に分かれて乗用トラクターの実習。初めての体験でおっかなびっくりでしたが、横を歩く講師に助けをいただきながらなんとか圃場を往復。それに比べて女性陣の思い切りのいい運転振りに驚きましたが、昼休みの雑談で農家の若奥様達であることが判明し納得。

午後は歩行型トラクター（耕運機と土寄せ機）と刈払い機の実習となりました。耕運機については手賀沼トラストで経験済みでしたが、安全確保につき再認識。又、刈払い機は、周囲を巻き込む危険があり、作業員本人の安全確保とともに、周囲にもその危険性を周知してもらい、危険範囲には立ち入らせないことが大切であることを学びました。

こうして研修は無事に終了、冷たい風の吹く夕暮のなかで解散となりました。 （徳井 哲雄 記）

.....

会員コーナー

日本ミツバチの話（その 2）

ミツバチの話の前に釣りの話です。

鮒を釣っても美味くないと、食える魚を求めて私が向かったのは溪流である。幻の魚、岩魚を釣ろうというのである。大学同期の K と深山幽谷に分け入った。運転免許を持っていなかったの、K の車が頼りだった。凍るような川を泳いだり、絶壁から身を躍らせて懸垂下降の真似ごとをしたりもした。降るような星空のもと、岩魚の刺身と焼きマツタケ、なんていう豪華な夕餉も味わった。ところがである。女房に先立たれて男やもめだった K が、再婚するやぶつりと私を誘わなくなった。釣りには行っているようである。後日、分かったのだが、実は、K は田舎育ちの野人のくせに一人で山の中で寝られなかったのだ。何かが出そうな気がするという。それで私を誘っていたのだ。一回り以上離れた新しい女房と行くようになったのでお払い箱。そりゃそうだ。

というわけで、私はしだいに溪流に行かなくなった。実はほかにも訳があった。禁漁期も近い、福島のある沢でのことだ。瀬から淵へと散々引きずりまわされた挙句、ようやく釣り上げた尺近いイワナを握ると、腹からぼろぼろと卵がこぼれた。黄色い透きとおった粒々である。ああ、これは殺生だ、いけないことだ、と思った。

それからはあまり釣りに身が入らなくなった。そのかわりにバードウォッチングを始めた。しかし見るだけで食えない。川から上がってキノコ採りを始めた。これは私の性に合った。そのうち、釣りはや

めてキノコ採り専門になった。必ず図鑑を 2 冊を持って行き、安全だと確信できたものだけ採取する。宝探しにも似た面白さがあり、実に楽しい。それでも一度だけ中毒した。ホテイシメジというキノコ。香りも味もいいが、アルコール分解酵素の働きを妨げる成分を含んでいて、酒と一緒に食せない。のんべいと相場が決まっている地元のキノコ採りは採らない。だから、余所者の私にも採れる。たくさん採ってきて昼食なら大丈夫とキノコ汁にして食べた。美味しい、いい出汁もでる。ここまではよかった。その日は外で友達に会い、一杯やろうと早くから飲み屋に入った。まずビール、それから冷酒と、酒も話もはずんだ。そのうち、手のひらが妙にむずがゆくなってきた。やがて激しい動悸、ドクドクドクと体全体に響きわたる。こりゃまずい、と早々に飲み会を切り上げて、電車のつり革につかまりながら、今からでも診てくれる病院は、などと思案しているうちに、あ、あれだ、と思いあたった。昼のキノコだ。家にたどり着いて図鑑をみると書いてある。「動悸が激しくなったり、全身がかゆくなったり……。」でも、中毒はこれっきり。キノコ採りは今でも続いています。

さて、ようやくミツバチの話です。なぜミツバチを飼い始めたのか。縄文的野生採取から弥生的栽培・飼育へ、なぜ私が進化したのか、は次回のお楽しみ。 （富澤 崇 記）

● 10 月度 活動報告

| 活動日 | 活動区分 | 担当部門 | 参加者 | 活動内容 |
|----------|---------|----------|------|-------------------------------|
| 10/1(土) | 農教室 | 農事・農教室 G | 33 名 | ゴマ (7.5kg) 袋詰、野菜の管理 |
| 10/5(水) | 定例 | 環境保全 G | 15 名 | 根戸城址管理 (台風の影響で倒木、枯枝が散乱) |
| 10/8(土) | 農教室 | 農事・農教室 G | 47 名 | サツマイモ収穫 (約 250kg)、ヘチマ等の棚撤収等 |
| 々 | 折衝 | 農地保全 G | 2 名 | 箕輪圃場に関する折衝 |
| 10/11(火) | 合同 (臨時) | 農事・農教室 G | 11 名 | 赤米、黒米の初摺り (杉野ファームにて) |
| 10/15(土) | 外部 | 交流事業 G | 1 名 | 手賀沼流域フォーラム全体会で遠藤理事長が事例報告 |
| 10/17(月) | 研修 | 農地保全 G | 7 名 | 千葉県農業大学校で農業機械体験研修 (17 日、19 日) |

● 11 月～12 月度 活動計画 (活動時間：8 時 30 分～12 時 00 分)

| 活動日 | 活動区分 | 担当部門 | 活動内容 | 留意事項 |
|----------|---------|----------|-----------------|-----------------------------|
| 11/2(水) | 定例 | 環境保全 G | 樹林地 (根戸城址) 管理 | |
| 々 | 会議 | 事務局 | 安全管理委員会 | 定例活動終了後 |
| 11/5(土) | 合同 | 農事・農教室 G | そば脱穀 | |
| 11/12(土) | 合同 (臨時) | 農事・農教室 | そば脱穀、サツマイモ収穫 | 臨時農教室 でサツマイモの収穫をします |
| 11/19(土) | 農教室 | 々 | サトイモ、ネギ、ダイコン等収穫 | |
| 11/25(金) | 合同 | 交流事業 G | そば祭り準備 | ご都合のつく方お手伝いください。 |
| 11/26(土) | 合同 | 々 | そば祭り | 雨天の場合は翌 27 日 (日) に順延 |
| 12/7(水) | 合同 | 事務局 | 大掃除 | ご都合のつく方ご参加ください。 |
| 12/10(土) | 農教室 | 農事・農教室 G | ヤツガシラ収穫、終了式、芋煮会 | 農具の整理整頓 |
| 12/16(金) | 合同 | 交流事業 G | 餅つき大会準備 | ご都合のつく方お手伝いください。 |
| 12/17(土) | 合同 | 々 | 餅つき大会 | 雨天の場合は翌 18 日 (日) に順延 |
| 12/21(水) | 定例理事会 | 事務局 | | けやきプラザ 10 階 18 時～ |

※ 日程の変更がある場合は HP の「お知らせ」テロップでご案内します。

※ お問い合わせ先は、TEL：04-7184-3385 (國方)、04-7131-3450 (吉田) 宛にお願いします。

「ミカン山物語」

会報第 3 号にミカン山管理の運営スタッフ募集が掲載されました。その応募の参考に「ミカン山物語」をお話します。

○ミカン山全体は前代表の故日暮朝納さんから信託を受けた山です。胸の高さほどの雑草に覆われる斜面で管理が大変な所です。2005 年に丸井福祉会さんから温州みかんの苗木の寄贈を受け、日当たりの良い南斜面に植えました。何時もご支援頂き有難いことです。

○会員には温州みかん栽培の経験者が居りません。いろいろ調べてみましたが、かなり専門的な知識が必要とわかりました。市農政課、東葛飾農業事務所に調査を依頼し、近隣で一番近い温州ミカン栽培農家 (市原市の房総十字園) の紹介を受け、樹木の健康状況の診断法を教わりました。

○現在は私が手探りで管理をしています。

○先の台風で 7 割に及ぶ倒木の被害を受けました。

○本格的対策と今後の管理に寺田さんと金井では処理できません。是非とも、応援者が必要です。

○果樹栽培に興味のある人、月に 2 回ほど活動できる人、改善工夫が好きな人、是非応募をお願いします。

(金井 準 記)

編集後記

12 月 1 日って何の日? 千葉県では NPO 自らが市民に活動を広報・普及する日として 12 月 1 日 (NPO 法施行日) を「**NPO の日**」と定めています。

我孫子では 12 月 1 日の夕方 (18 時～19 時頃)、あびこ市民活動ネットワーク加盟団体が駅頭で「**NPO ってなあに?**」リーフレットの配布を行います。お手伝いいただける方募集します。 (國方 幸生 記)